

川だより～芦田川～

ニュースレター
第3号
(H17.4.22)

ニュースレター「川だより 芦田川」も第3号の発行となりました。
芦田川河川整備計画の策定にあたり、流域のみなさんに理解と関心を深めていただくとともにみなさんの意見もおききすることとしています。

今後、芦田川の治水、利水、環境といったことをお知らせすることとしています。
この3号では、芦田川の洪水についてお知らせいたします。

洪水による災害について説明します。

これまでの災害

これまでに芦田川で発生した大きな洪水とそれによる被害を、記録がある範囲でまとめると表のようになります。これら6洪水の中で、最大の洪水は終戦直後に発生した昭和20年9月洪水です。

発生年月日	発生要因	被害発生状況
大正8年7月5日	梅雨前線	死者23人、家屋全壊226戸、家屋半壊190戸、床上浸水770戸、床下浸水5,468戸
昭和20年9月18日	枕崎台風	死者85人、家屋全壊122戸、家屋半壊84戸、家屋浸水2,714戸、冠水面積1,135ha
昭和47年7月11日	梅雨前線	死者6人、家屋全壊3戸、床上浸水111戸、床下浸水164戸、冠水面積930.7ha
昭和50年8月18日	熱帯低気圧	床上浸水82戸、床下浸水2,156戸
昭和60年6月25日	梅雨前線	死者1人、家屋全壊1戸、床上浸水106戸、床下浸水1,504戸、冠水面積673ha
平成10年10月18日	台風10号	家屋全壊1戸、家屋半壊1戸、床上浸水51戸、床下浸水316戸、冠水面積39ha

特に被害が大きかった大正8年、昭和20年、それから昭和60年、記憶に新しい平成10年の洪水の状況を以下に示します。

大正8年7月洪水
(船の往来する福山市街地・旧医者町付近)



昭和20年9月洪水
(府中市土生町：芦田川27km付近)



昭和60年6月洪水
(福山市新市町：芦田川20.6km)



平成10年10月洪水
(中津原付近：芦田川15km)



第2回 「芦田川の今後を考える学識懇談会」の開催

第2回「芦田川の今後を考える学識懇談会」開催

中国地方整備局は、芦田川の整備にかかるこれまでの経緯を踏まえて、今後20～30年間の「治水・利水・環境」といった目的で行う芦田川の整備内容を具体化する河川整備計画を検討しています。

このため、河川整備に関する専門的知識を有する学識経験者の方々から意見を聴くことを目的とした「芦田川の今後を考える学識懇談会」を平成17年1月28日に立ち上げました。専門的な立場の方々から、芦田川の整備計画についてご意見を頂き、整備計画に反映させていくよう進めています。

今回は、2回目の開催となり、芦田川の現地視察と会議について下記のとおり開催します。

記

日時：平成17年4月27日（水）13：00～17：00

場所：現地視察後～ウェルサンピア福山

現地視察 13：00～16：00

会 議 16：00～17：00



写真1 八田原ダム



写真4 ちゃぶちゃぶらんど



写真2 河佐峡



写真5 芦田川河口堰上流
(竹ヶ端)の桜堤



写真3 目崎箇所(府中市目崎町)
〈昭和60年6月洪水〉



写真6 芦田川河口堰

発 行 者

国土交通省中国地方整備局
福山河川国道事務所
調査設計第一課

〒720-0031 福山市三吉町4-4-13
TEL 084-923-2620 / FAX 084-923-2557
E-mail info@fukuyama-mlit.go.jp